

やんばる国立公園

公園計画書

令和2年2月26日

環境省

目次

1	基本方針	1
2	規制計画	4
(1)	保護規制計画及び関連事項	4
ア	特別地域	4
(ア)	特別保護地区	6
(イ)	第1種特別地域	11
(ウ)	第2種特別地域	16
(エ)	第3種特別地域	22
イ	関連事項	28
(ア)	普通地域	28
ウ	面積内訳	29
3	施設計画	31
(1)	保護施設計画	31
(2)	利用施設計画	32
ア	単独施設	32
イ	道路	35
(ア)	車道	35
(イ)	歩道	36
4	参考事項	37
(1)	過去の経緯	37
(2)	公園区域及び公園計画図	38

1 基本方針

やんばる国立公園は、琉球列島の地史的形成過程を反映して多くの固有種が集中して分布する国内最大規模の亜熱帯照葉樹林の生態系を中心として、高湿度の山地に発達する雲霧林、溪流植物群落などの河川生態系、石灰岩地特有の動植物、マングローブ生態系といった多様な生態系が複合的に一体となった景観を有している。

やんばる国立公園は、多種多様な固有又は希少な動植物が生息・生育する生態系を保護保全し、これらの自然をおそれ敬うと同時に豊かな恵みを享受しながら育まれてきた地域のくらしと文化の維持継承に寄与し、豊かな生物多様性と独特な亜熱帯森林生態系を実感できる国立公園として、保護と利用を推進するため、公園計画を定める。

(1) 保護に関する基本方針

亜熱帯照葉樹林には、オキナワトゲネズミやヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナゴガネ、オキナワセッコクをはじめとした希少種や固有種が数多く生息・生育し、これらの動植物からなる生態系を保護することが重要である。しかし、この地域の森林は、琉球王府時代から現代まで沖縄の森林資源の供給地として林業が営まれ、沖縄島の生活と産業全体を支える水資源の供給地としてダムが設置されるなど、様々な産業活動が行われてきた。さらに、この森林に侵入したマングースやノネコなどの外来生物、交通事故、捕獲採取などによる影響も受けている。また、ノグチゲラによる農作物被害も発生している。当該国立公園においては、このような背景を伴いながら現在まで残されてきた生態系の価値を維持し、産業活動との調整を行いながら、保護管理を行うことが重要である。

このため、保護に関する基本的な方針として、野生動植物が健全な状態で生息・生育でき、種の絶滅をさせないことを確保しながら、この森の再生力の範囲内で森林施業との調整を図るものとする。具体的には、高齢林及び高齢林分を含む森林を厳正に保護し、希少かつ固有な動植物の生息・生育地として重要な脊梁部の保護の連続性を保ち、溪流植物や両生類などを育む溪流環境を保護し、生態系に配慮した森林施業を行うとともに、これまで行われてきた生活、産業、開発行為の結果、照葉樹林や河川生態系が劣化している場合には、自然再生・修復を行う。

そして、生態系に悪影響を及ぼす外来生物を防除し、捕獲採取や交通事故などの人為的な影響を防ぐものとする。

ア 規制計画

(ア) 特別地域

a 特別保護地区

伊部岳^{いぶだけ}周辺、西銘岳^{にしめだけ}周辺の一帯及び脊梁山地の東側の地域から普久川^{ひんがわ}流域は樹齢 70 年生以上の高齢林で大径木を有するとともに、溪流沿いの岩上に発達する溪流植生がみられ、希少かつ固有な動植物の重要な生息・生育地となって

いる。与那覇岳及び伊湯岳周辺の一帯については、動植物の重要な生息・生育地であるとともに、雲霧林が発達し、着生のシダ植物やラン科植物が多く存在する。辺戸岳はカルスト地形からなる特有の景観を有している。これらの生物の多様性及び優れた景観を保護するため特別保護地区とする。

b 第1種特別地域

脊梁山地は希少かつ固有な動植物の重要な生息・生育地となっており、森林内の溪流には熱帯・亜熱帯に特徴的な溪流植物が分布し、当該地域に固有な両生類の産卵・生息環境となっている。ネクマチヂ岳周辺の古生層石灰岩地はカルスト地形を有し特有の植物が生育している。辺戸岬は海食崖の景観が優れている。これらの生物の多様性及び優れた風致を維持するため、第1種特別地域として保護する。

c 第2種特別地域

特別保護地区又は第1種特別地域と連続した亜熱帯照葉樹林で、希少かつ固有な動植物の生息・生育場であり、生態系の保護と森林施業と調整を図る地域。海岸の自然海岸は海岸植生が発達し、砂浜はウミガメの産卵場所となっている。こうした良好な風致を保護するため、第2種特別地域とする。

d 第3種特別地域

第1種特別地域又は第2種特別地域に接続し、リュウキュウマツの人工林を中心とする森林が広がっている。また、当該地の自然環境と山地等を利用して農業が営まれており、こうした地域の風致の維持を図るため、第3種特別地域とする。

(イ) 普通地域

山地と海、人々の暮らしが織りなす風景を維持するため、普通地域として特別地域をとりまく風景の保全を図る。

(2) 利用に関する基本方針

やんばる国立公園は、亜熱帯照葉樹林や溪流景観、そこに生息・生育する多種多様な固有又は希少な動植物、海食崖の海岸やウミガメが産卵する砂浜、カルスト地形、これらの自然に育まれ継承されてきた人々の暮らしと文化などを公園の資源として持つ。これらの資源を活用し、当該地域の野生生物が多く生息・生育する雰囲気を感じ、亜熱帯照葉樹林の森の豊かさ（生物多様性）を実感できる国立公園とすると同時に、利用にあたって、利用者の集中による雰囲気の低下や自然の荒廃に留意し、一般利用者向けの自然探勝だけでなく質の高い自然体験の機会を設ける。

利用にあたって、捕獲・採取による影響が懸念される昆虫や両生は虫類、植物が多く存在し、無秩序な林内の利用と利用者の集中による自然の荒廃を防ぐため、自然の状況に応じて少人数制やガイドの同行など利用に際してのルールを検討するとともに、マナーの周知・徹底を図り、資源を保全しながら持続的な利用を行うこと

とする。野生動物の観察は、当該国立公園の利用形態の一つであるが、観察による動物への影響を考慮し、利用のルールを検討を行う。

また、暮らしや文化の資源を守るため、来訪者が住民の生活やしきたり、風習を冒さぬよう配慮する必要がある。

(3) 施設計画

(ア) 単独施設

亜熱帯照葉樹林やカルスト地形、ダム湖面での自然探勝、海食崖の海岸の眺望、マングローブ林や干潟の生きもの観察などを行うために必要な施設計画を配置する。

当該地域において既に整備されている園地、宿泊施設、キャンプ場等も公園利用に資する施設は計画に位置づける。

固有又は希少な動植物の生息・生育地である亜熱帯照葉樹林における利用施設の整備・維持管理にあたっては、利用による自然環境への悪影響に留意する。

(イ) 道路

亜熱帯照葉樹林やカルスト地形、自然海岸などの当該国立公園の景観を探勝するための車道を計画に位置づける。

亜熱帯照葉樹林やカルスト地形を探勝しながら、動植物を観察し、森の豊かさを感じるための歩道を計画に位置づける。基盤である土壌は脆弱で、容易に土壌が流出し洗掘が進行することから、利用者の利用形態や自然性の状況などを勘案し、適切に歩道の整備を行う。劣化が生じる場合、路線の変更や一時的な利用の休止を行い、回復を図る。

固有又は希少な動植物の生息・生育地である亜熱帯照葉樹林における車道及び歩道の整備・維持管理にあたっては、利用による自然環境の悪影響を防止し、希少動植物の捕獲・採取、希少動物の交通事故死の防止を図るものとする。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 31 林班、37 林班から 41 林班まで、45 林班から 53 林班まで、55 林班から 59 林班まで、62 林班及び 63 林班の全部並びに 28 林班、30 林班、32 林班から 36 林班まで、42 林班から 44 林班まで、54 林班、60 林班及び 61 林班の各一部 国頭郡国頭村 字安田、字安波、字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥、字奥間、字宜名真、字佐、字謝敷、字楚洲、字浜、字比地、字辺戸、字辺野喜、字辺土名及び字与那の各一部	12,367 国 5,544 公 5,062 私 1,627 不 134
	国頭郡大宜味村 字上原、字大兼久、字大宜味、字押川、字喜如嘉、字塩屋、字謝名城、字白浜、字田嘉里、字田港、字津波、字饒波、字根路銘、字宮城及び字屋古の各一部	2,508 国 36 公 1,877 私 518 不 77
	国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 3 林班及び 4 林班の全部並びに 1 林班、2 林班、5 林班、7 林班及び 19 林班の各一部 国頭郡東村 字有銘、字川田、字慶佐次、字平良、字高江及び字宮城の各一部	1,446 国 789 公 516 私 123 不 18

合 計	16,321
	[国 6,369]
	公 7,455
	私 2,268
	不 229

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県 名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 31 林班及び 38 林班から 40 林班までの全部並びに 28 林班、30 林班、32 林班から 37 林班まで、41 林班から 43 林班まで及び 45 林班の各一部	2,327 [国 1,768 公 482 私 68 不 9]
	国頭郡国頭村 字安田、字伊地、字奥間、字宜名真、字比地、字辺戸、字辺野喜及び字与那の各一部	
	国頭郡大宜味村 字田港の一部	3 [国 0 公 0 私 3 不 0]
国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 3 林班及び 4 林班の全部並びに 5 林班、7 林班及び 19 林班の各一部	国頭郡東村 字高江の一部	679 [国 679 公 0 私 0 不 0]
合 計		3,009 [国 2,447 公 482 私 71 不 9]

(表3：特別保護地区内訳表)

名称	区	域	地区の概要	面積 (ha)
辺戸岳	沖縄県国頭郡国頭村 字宜名真及び字辺戸の各一部		古生層石灰岩を基盤にもち、カルスト地形で、その景観は雄大である。森林は石灰岩地特有のナガミボチョウジューリュウキユウガキ群落が発達している。石灰岩地特有の植物が生育しており、カルスト地形の景観とともに厳正に保護する。	56 [国 0 公 0 私 56 不 0]
べのきがわ 辺野喜川上 流部	沖縄県国頭郡国頭村 字辺野喜の一部		75年以上の照葉樹林と辺野喜川上流部の溪流環境を含む地区で、ノグチゲラやヤンバルクイナ、オキナワインシカワガエルなどの固有で希少な動植物の重要な生息・生育地であり、厳正に保護する。	192 [国 15 公 177 私 0 不 0]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
香梁山地	<p>沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 38 林班及び 39 林班の全部並びに 36 林班及び 37 林班の各一部 沖縄県国頭郡国頭村 宇安田の一部 沖縄県国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 3 林班及び 4 林班の全部並びに 5 林班、7 林班及 び 19 林班の各一部 沖縄県国頭郡東村 宇高江の一部</p>	<p>香梁山地の東側に位置し、標高 250m 程度以上の山地から 100m 程度の山麓まで広がる常緑広葉樹林で、主に林齢 80 年 以上の照葉樹林が良好な状態で残存している。 特に、照首山<small>てうくびやま</small>の北東部の普久川上流域は、着生のシダ植物や ラン科植物の他、溪流沿いの岩上に発達する溪流植生などの 希少な植物が確認されている。また、標高の高い伊湯岳（標高 446.2m）周辺には、雲霧林が発達し、着生のシダ植物やラン科 植物が多く存在する。 当該区域では、ケナガネズミ、ノグチゲラ、ヤンバルクイナ など固有動物及び希少動物の重要な生息地となっているほ か、溪流域にはオキナワシカワガエルやホルストガエル、ナ ミエガエルなどの固有動物及び希少動物が生息している。 固有で希少な動植物の重要な生息・生育地であり、厳正に景 観の保護を図る。</p>	<p>1, 126 [国 1, 121 公 0 私 0 不 5]</p>
伊部岳	<p>沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 40 林班の全 部並びに 41 林班及び 45 林班の各一 部 沖縄県国頭郡国頭村 宇安田の一部</p>	<p>伊部岳（標高 353m）の北側山麓から普久川にかけて広がる 山地で、75 年以上の照葉樹林をまとって含み、ノグチゲラ やヤンバルクイナなどの固有で希少な動植物の重要な生息・ 生育地であり、厳正に保護する。 伊部岳中腹の第 1 種特別地域との境界には推定樹齢 300 年 のオキナワウラジロガシも生育している。</p>	<p>499 [国 495 公 0 私 0 不 4]</p>

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
東部地域	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 31 林班の全部並びに 28 林班、30 林班、32 林班から 36 林班まで、42 林班及び 43 林班の各一部	脊梁山地の東側に広がる標高 100m～200m程度の丘陵地で、林齢 70 年以上の照葉樹林が良好な状態で残存している。着生のシダ類やラン科類、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ケナガネズミなどの固有で希少な動植物の生息・生育地であり、厳正に景観の保護を図る。	815 〔 国 815 公 0 私 0 不 0 〕
与那川上流部	沖縄県国頭郡国頭村 字伊地及び字与那の各一部	与那川上流部の標高 200m から 300m にかけて広がる 75 年以上の照葉樹林がまとまっている地区であり、ケナガネズミやリュウキウヤマガメなどの固有で希少な動植物の生育・生息地であり、厳正に保護する。 モニタリングや学術的な研究が行われている地区である。	62 〔 国 0 公 62 私 0 不 0 〕
与那覇岳	沖縄県国頭郡国頭村 字奥間及び字比地の各一部	沖縄島最高峰の与那覇岳(標高 503m)を中心とした標高 300m 程度までの照葉樹林である。ノグチゲラなどの固有で希少な動物の生息地として重要であるとともに、雲霧林が発達し、着生のシダ植物やラン科植物が多く存在する場所である。 核心地域であるとともに、登山者等も訪れる場所であり、固有で希少な動植物の保護と公園利用との軋轢を回避・抑制するよう厳正な保護を図る。	256 〔 国 1 公 243 私 12 不 0 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
田港御嶽	沖縄県国頭郡大宜味村 字田港の一部	古生層石灰岩を母岩にもつ御嶽林で、人為的干渉を受けることなく今日まで保護されてきた。沖縄における古生層石灰地域の代表的植生とみなされており、植生を厳正に保護する。	3 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>0</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>3</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	3	不	0
国	0										
公	0										
私	3										
不	0										
		合 計	3,009 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>2,447</td></tr> <tr><td>公</td><td>482</td></tr> <tr><td>私</td><td>71</td></tr> <tr><td>不</td><td>9</td></tr> </table>	国	2,447	公	482	私	71	不	9
国	2,447										
公	482										
私	71										
不	9										

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 58 林班及び 63 林班の全部並びに 33 林班、35 林班から 37 林班まで、44 林班、46 林班、55 林班から 57 林班まで、59 林班、60 林班及び 62 林班の各一部 国頭郡国頭村 字安田、字安波、字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥、字奥間、字宜名真、字佐手、字謝敷、字浜、字比地、字辺戸、字辺野喜、字辺土名及び字与那の各一部	3,333 [国 1,124] 公 2,000 私 205 不 4]
	国頭郡大宜味村 字大宜味、字押川、字喜如嘉、字謝名城、字田嘉里、字田港、字饒波及び字根路銘の各一部	1,376 [国 7] 公 1,266 私 63 不 40]
	国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 2 林班の一部 国頭郡東村 字川田及び字慶佐次の各一部	292 [国 84] 公 185 私 11 不 12]
合 計		5,001 [国 1,215] 公 3,451 私 279 不 56]

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区	域	地区の概要	面積 (ha)
へどみき 辺戸岬	沖縄県国頭郡国頭村	字宜名真及び字辺戸の各一部	海食崖地形で風衝地植生が発達している。崖から内陸部にかけては石灰岩特有のカルスト地形を示し、平坦部にはコウライシバの芝草原が広がっている。変化のある海岸景勝地である。断崖景観の保全に留意して風致を維持する。	31 9 0 22 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
香梁山地	<p>沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 58 林班及び 63 林班の全部並びに 55 林班から 57 林班まで、59 林班、60 林班及び 62 林班の各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安波、字伊地、字宇嘉、字宇良、字 奥、字奥間、字佐手、字謝敷、字浜、 字比地、字辺野喜、字辺土名及び字与 那の各一部 沖縄県国頭郡大宜味村 字大宜味、字押川、字喜如嘉、字謝名 城、字田嘉里、字田港、字饒波及び字 根路銘の各一部 沖縄県国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 2 林班の一部 沖縄県国頭郡東村 字川田の一部</p>	<p>標高 200m 以上の山地で、一帯に照葉樹林が広がり、オキナ ワトゲネズミ、ケナガネズミ、ノグチゲラ、ヤンバルクイナな どの重要な生息地となっている。谷部の溪流には、溪流植物、 着生のシダ類やラン科植物が生育し、オキナワイシカワガエ ルやナミエガエル、ハナサキガエル、ホルストガエル、リュウ キュウヤマガメ、イボイモリなどの固有で希少な両生は虫類 の生息地となっている。 主要な林道が配置されていることから、適正な利用の推進 を図るとともにこれら固有で希少な動植物の生息・生育地 として十分な風致の維持を図る。また、若齢林や人工林につい ては高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。</p>	<p>4, 085</p> <table border="1" data-bbox="295 286 502 551"> <tr> <td>国</td> <td>907</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>2, 902</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>44</td> </tr> </table>	国	907	公	2, 902	私	232	不	44
国	907										
公	2, 902										
私	232										
不	44										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
我地川流域	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 44 林班及び 46 林班の各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部	我地川流域に広がる標高 100m から 250m の区域であり、林齢 50 年以上の良好な照葉樹林が広がる。ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ホルストガエルやナミエガエルなどの希少で固有な動植物の生息・生育が確認されている。 流域の一体的な保全を図るとともに、固有で希少な動植物の生息・生育地として風致の維持を図る。	108 [国 107 公 0 私 0 不 1]
東部地域	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 33 林班及び 35 林班から 37 林班までの各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田及び字安波の各一部	脊梁山地の東側に広がる標高 100m～200m 程度の丘陵地及び照首山の東側山麓からフンガー湖に至る区域であり、樹齢 30 年～60 年程度の若齢の照葉樹林やリュウキウマツの人工林が広がっている。ノグチゲラやヤンバルクイナ、ホントウアカヒゲ、ケナガネズミ、リュウキウマツやマガメなどの固有で希少な動植物の生育・生息地である。 固有で希少な動植物の生息地として風致を維持するとともに、若齢林や人工林は高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。	618 [国 192 公 426 私 0 不 0]
ネクマチヂ岳、塩屋富士	沖縄県国頭郡大宜味村 字大宜味、字押川、字饒波及び字根路 銘の各一部	古生層石灰岩からなるネクマチヂ岳（標高 361m）、塩屋富士（標高 318m）を含む山地で、カルスト地形となっている。山頂部の雲霧林や風衝地、土壌の特殊性などから特殊な環境に適応した、希少な植物が多く生育している。 登山道が整備されており、貴重な植生の保全に留意して風致の維持を図る。	148 [国 0 公 123 私 25 不 0]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
慶佐次	沖縄県国頭郡東村 字慶佐次の一部	<p>慶佐次川の河口に位置するオヒルギ、ヤエヤマヒルギ、メヒルギからなるマングローブ群落で、特異な景観を有している。干潮時にはシオマネキ類やミナミトビハゼなどの水生生物が観察できる。</p> <p>カヤックや木道からの動植物の観察が行われる利用拠点となっている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>11</td> </tr> </table>	国	11	公	0	私	0	不	0	不	11
国	11												
公	0												
私	0												
不	0												
不	11												
		合 計	<table border="1"> <tr> <td>5,001</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>1,215</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>3,451</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>56</td> </tr> </table>	5,001	国	1,215	公	3,451	私	279	不	56	
5,001													
国	1,215												
公	3,451												
私	279												
不	56												

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 28 林班、41 林班から 46 林班まで及び 55 林班から 57 林班までの各一部 国頭郡国頭村 字安田、字安波、字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥、字奥間、字宜名真、字佐手、字謝敷、字浜、字比地、字辺戸、字辺野喜、字辺土名及び字与那の各一部	3,008 〔 国 745 〕 公 1,399 私 797 不 67
	国頭郡大宜味村 字上原、字大兼久、字大宜味、字押川、字喜如嘉、字塩屋、字謝名城、字白浜、字田嘉里、字田港、字津波、字饒波、字根路銘、字宮城及び字屋古の各一部	1,008 〔 国 29 〕 公 593 私 356 不 30
	国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 1 林班の一部 国頭郡東村 字有銘、字川田、字慶佐次、字平良、字高江及び字宮城の各一部	461 〔 国 25 〕 公 325 私 105 不 6
	合 計	4,477 〔 国 799 〕 公 2,317 私 1,258 不 103

(表7：第2種特別地域内訳表)

名称	区	域	地区の概要	面積 (ha)
宜名真、辺戸、奥	沖縄県国頭郡国頭村 字奥、字宜名真及び字辺戸の各一部		辺戸岳の特別保護地区や辺戸岬の第1種特別地域に隣接する地区で、石灰岩からなるこれらの特異な景観を一带として保全する。園地などの視点場や国道58号線からの眺望などに留意する。 北東の海岸に点在する砂浜は、ウミガメの産卵地となっており、自然海岸の保全に留意して風致を維持する。	241 〔 国 公 私 不 〕 16 61 158 6
春梁山地	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖繩森林管理署 55 林班から 57 林班までの各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥、字奥 間、字宜名真、字佐手、字謝敷、字浜、 字比地、字辺野喜、字辺土名及び字与 那の各一部 沖縄県国頭郡大宜味村 字喜如嘉、字謝名城及び字田嘉里の 各一部		春梁山地の西側に、標高150mから300m程度に位置する照葉樹林で、座津武川や興川、伊江川、辺野喜川、佐手川、与那川、奥間川、比地川、田嘉里川を含み、これらの河川環境の保全に留意する。オキナワトゲネズミやケナガネズミ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ホントウアカヒゲ、オキナワイシカワガエル、ナミエガエルなどの固有で希少な動植物の生息・生育地となっている。 これらの動植物の生息・生育地の保全に留意して風致の維持を図る。	2,364 〔 国 公 私 不 〕 342 1,380 608 34
我地川流域	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖繩森林管理署 44 林班から 46 林班までの各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部		我地川流域に広がる区域であり、林齢75年以上の良好な照葉樹林が残存している。ノグチゲラやヤンバルクイナなどの固有で希少な動植物が生息・生育している。 林業地域や農業地域に隣接しており、これらの動植物の生息・生育地の保全に留意しつつ、我地川の流域と一体的に風致の維持を図る。	166 〔 国 公 私 不 〕 163 0 0 3

名称	区	域	地区の概要	面積 (ha)
普久川流域	沖縄県国頭郡国頭村内 国布林沖繩森林管理署 41 林班から 43 林班までの各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部		普久川流域に広がる風衝地及びダム湖周辺であり、林齢 70 年以上の照葉樹林やリュウキウマツ林が混在し、ノグチゲラやヤンバルクイナなどの固有で希少な動植物が生息・生育している。 これらの動植物の生息・生育地の保全や、県道 2 号線からの眺望、湖面利用などに留意し風致の維持を図る。	93 〔 国 93 公 0 私 0 不 0 〕
安田	沖縄県国頭郡国頭村内 国布林沖繩森林管理署 43 林班の一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部		スダジイが優占する二次林を主とする照葉樹林である。ヤンバルクイナが多く生息する地区であり、観察を目的とした利用者も訪れている。固有動物の生息に留意して保全を図るとともに、交通事故の防止等にも留意する。	138 〔 国 7 公 112 私 17 不 2 〕
イシキナ 崎、ジチ浜	沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部		段丘崖と砂浜からなる自然海岸で、ジチ浜はウミガメの産卵地となっている。海岸植生とウミガメの生息地の保全に留意して風致の維持を図る。	23 〔 国 4 公 0 私 19 不 0 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
クイナ湖	沖縄県国頭郡国頭村 字安波の一部	安波川中流域に位置するダム湖である。環境教育及びレクリエーションの場としても重要であることから、河川環境の保全やダム湖から沿岸部の眺望に留意して、風致の維持を図る。	80 〔 国 80 公 0 私 0 不 0 〕
安波	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 28 林班の一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安波の一部	安波川流域の丘陵地に広がる照葉樹林及び安波集落に近く、農業地に隣接する林齢75年以上の照葉樹林で、ノグチゲラやヤンバルクイナ、ケナガネズミなどの固有で希少な動物が生息・生育している。 既存の利用施設を拠点として、照葉樹林や溪流などを利用した自然探勝が行われている地区であり、これらの動植物の生息・生育に留意して、風致の維持を図る。	204 〔 国 40 公 133 私 9 不 22 〕
ネクマチ 岳、塩屋 土	沖縄県国頭郡大宜味村 字上原、字大兼久、字大宜味、字押 川、字塩屋、字田港、字饒波、字根路 銘及び字屋古の各一部	古生層石灰岩のカルスト地形を有し、希少な植物が多く生育している。饒波川の上流部などには、オキナワイシカワガエル、ナミエガエル、ハナサキガエルが生息している。 ドリリーネや鍾乳洞などの地形や希少植物の生育環境の保全に留意して風致の維持を図る。	324 〔 国 0 公 27 私 277 不 20 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
新川	沖縄県国頭郡東村 字高江の一部	新川川の河川景観と段丘崖の自然海岸景観を有する。河川環境の保全に留意して、風致の維持を図る。	127 [国 10 公 24 私 89 不 4]
塩屋湾	沖縄県国頭郡大宜味村 字白浜及び字宮城の各一部	塩屋湾の入り江と照葉樹林やリュウキウマツ林による景観が特徴である。これらの景観に留意して風致の維持を図る。	68 [国 5 公 3 私 57 不 3]
ぶながや 湖、福上湖	沖縄県国頭郡大宜味村 字大宜味、字押川、字田港及び字根路 銘の各一部 沖縄県国頭郡東村内 国有林沖縄森林管理署 1 林班の一部 沖縄県国頭郡東村 字川田及び字宮城の各一部	林齢 60 年を超えるダム湖周囲の照葉樹林で、ノグチゲラヤヤンバルクイナなどの固有で希少な動植物が比較的多く確認されている。これらの動植物の生息・生育や利用拠点からの景観に留意しつつ、風致の維持を図る。	91 [国 35 公 41 私 8 不 7]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
平良、慶佐次、津波山	沖縄県国頭郡大宜味村 字津波の一部 沖縄県国頭郡東村 字有銘、字慶佐次及び字平良の各一部	平南川、慶佐次川、有銘川の流域に広がる照葉樹二次林である。ノグチゲラなどの森林性の鳥類のユリドーとして風致の維持を図る。 平南川の川と滝を歩いて探勝する利用が行われている。	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>558</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>2</td> </tr> </table>	国	558	公	4	私	536	不	16	不	2
国	558												
公	4												
私	536												
不	16												
不	2												
		合 計	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>4,477</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>2,317</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>1,258</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>103</td> </tr> </table>	国	4,477	公	799	私	2,317	不	1,258	不	103
国	4,477												
公	799												
私	2,317												
不	1,258												
不	103												

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 47 林班から 53 林班までの全部並びに 28 林班、42 林班から 44 林班まで、54 林班、56 林班、57 林班及び 59 林班から 62 林班までの各一部 国頭郡国頭村 字安田、字安波、字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥、字奥間、字宜名真、字佐手、字謝敷、字楚洲、字浜、字比地、字辺戸、字辺野喜、字辺土名及び字与那の各一部	3,699 〔 国 1,907 〕 公 1,181 私 557 不 54
	国頭郡大宜味村 字大宜味、字喜如嘉、字白浜、字田嘉里、字津波及び字饒波の各一部	121 〔 国 0 〕 公 18 私 96 不 7
	国頭郡東村 字慶佐次の一部	14 〔 国 1 〕 公 6 私 7 不 0
合 計		3,834 〔 国 1,908 〕 公 1,205 私 660 不 61

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区	域	地区の概要	面積 (ha)								
辺戸岬	沖縄県国頭郡国頭村 字宜名真及び字辺戸の各一部		辺戸岬の内陸部に広がる地区で、農地を多く含む。辺戸岳の景観の保全に留意して風致の維持を図る。	162 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>4</td></tr> <tr><td>公</td><td>7</td></tr> <tr><td>私</td><td>140</td></tr> <tr><td>不</td><td>11</td></tr> </table>	国	4	公	7	私	140	不	11
国	4											
公	7											
私	140											
不	11											
辺戸、奥	沖縄県国頭郡国頭村 字奥、字宜名真及び字辺戸の各一部		辺戸から奥にかけて広がる照葉樹林である。農地が点在し、その間に大径木を含む森が残されている。脊梁山地につながる、ヤンバルクイナなどの動植物のコリドーとして風致の維持を図る。国道58号線ではヤンバルクイナなどの固有動物の交通事故の防止等に留意する。	496 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>12</td></tr> <tr><td>公</td><td>266</td></tr> <tr><td>私</td><td>208</td></tr> <tr><td>不</td><td>10</td></tr> </table>	国	12	公	266	私	208	不	10
国	12											
公	266											
私	208											
不	10											
尾西岳東部	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖繩森林管理署 48 林班から 52 林班までの全部及び 57 林班の 一部 沖縄県国頭郡国頭村 字奥及び字楚洲の各一部		尾西岳の北部から東部に広がる照葉樹林と隣接する自然海岸で構成される。植生はリュウキウマツの人工林が主体をなしている。自然海岸の砂浜は、ウミガメの産卵地になっている。県道70号線ではヤンバルクイナなどの固有動物の交通事故の防止等に留意する。	1,000 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>868</td></tr> <tr><td>公</td><td>58</td></tr> <tr><td>私</td><td>58</td></tr> <tr><td>不</td><td>16</td></tr> </table>	国	868	公	58	私	58	不	16
国	868											
公	58											
私	58											
不	16											

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
座津武川及び奥川中上流部	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 53 林班の全部並びに 54 林班及び 56 林班の各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字奥及び字宜名真の各一部	西銘岳と尾西岳 <small>おにしだけ</small> の山麓に広がるスダジイが優占する二次林とリュウキウマツ林である。座津武川や奥川を含み、これらの河川環境の保全に留意する。 ケナガネズミ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ホントウアカヒゲ、オキナワインシカワガエル、ナミエガエルなどの固有で希少な動物が生息しており、これらの生息に留意して風致の維持を図る。	397 [国 327 公 69 私 0 不 1]
春梁山地	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 59 林班から 62 林班までの各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字伊地、字宇嘉、字宇良、字奥間、字佐手、字謝敷、字浜、字比地、字辺野喜、字辺土名及び字与那の各一部 沖縄県国頭郡大宜味村 字大宜味、字喜如嘉、字田嘉里及び字饒波の各一部	春梁山地の西側の山麓に位置し、照葉樹林に囲まれた農地を含む地区である。ヤンバルクイナやノグチゲラなども生息していることから、これらの生息に留意して風致の維持を図る。	1,098 [国 189 公 664 私 225 不 20]
楚洲	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 47 林班の全部 沖縄県国頭郡国頭村 字楚洲の一部	春梁山地の標高 300m 程度の山地から東山麓、楚洲川まで広がる林齢 50 年生程度以上のスダジイを中心とした照葉樹の二次林である。 ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ホントウアカヒゲ、イボイモリなどの固有で希少な動物が生息するほか、希少なラン科植物などの生育が確認されている。 これら動植物の生息・生育地の保全に配慮した森林管理により風致の維持を図る。	320 [国 243 公 77 私 0 不 0]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
安田	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 44 林班の一 部 沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部	スダジイが優占する二次林を主とする照葉樹林や林齢44年 以上のリュウキウマツ林が広がっており、ノグチゲラやヤ ンバルクイナなどの固有で希少な動植物が生息・生育してい る。 これらの生息環境の保全に留意し、風致の維持を図る。	73 〔 国 14 公 58 私 0 不 1 〕
安田幸地川 流域	沖縄県国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署 42 林班及び 43 林班の各一部 沖縄県国頭郡国頭村 字安波の一部	林齢75年以上の照葉樹林が大半を占め、人工林や試験地等 が含まれる。ノグチゲラやヤンバルクイナなどの固有で希少 な動植物が生息・生育しており、これらの動植物の生息環境の 保全に留意し風致の維持を図るため、第3種特別地域とする。	226 〔 国 226 公 0 私 0 不 0 〕
安田ヶ島	沖縄県国頭郡国頭村 字安田の一部	安田の沖合400mほどに位置する島である。サンゴ礁に囲ま れており、カヤックによる利用が行われている。	8 〔 国 2 公 0 私 6 不 0 〕

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
安波	沖縄県国頭郡国頭村内 国営林冲縄森林管理署 28 林班の一部	安波地区の集落に近い標高 100m から 150m 程度の丘陵地でリュウキウマツ林が広がっている。ノグチゲラやヤンバルクイナなどの固有で希少な動植物が生息・生育しており、これらの生息環境の保全に留意し風致の維持を図る。	22 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>22</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> </table>	国	22	公	0	私	0	不	0
国	22										
公	0										
私	0										
不	0										
塩屋湾	沖縄県国頭郡大宜味村 字白浜の一部	塩屋湾の入り江と照葉樹林やリュウキウマツ林による景観が特徴である。これらの景観に留意して風致の維持を図る。	8 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>0</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>8</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	8	不	0
国	0										
公	0										
私	8										
不	0										
慶佐次、津波	沖縄県国頭郡大宜味村 字津波の一部 沖縄県国頭郡東村 字慶佐次の一部	慶佐次川及び津波川流域に広がる照葉樹二次林を主体とする森林である。ノグチゲラなどの森林性の鳥類の生息環境の保全に留意し風致の維持を図る。	24 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>1</td></tr> <tr><td>公</td><td>6</td></tr> <tr><td>私</td><td>15</td></tr> <tr><td>不</td><td>2</td></tr> </table>	国	1	公	6	私	15	不	2
国	1										
公	6										
私	15										
不	2										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
		合 計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">国</td> <td style="padding: 0 10px;">1,908</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">公</td> <td style="padding: 0 10px;">1,205</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">私</td> <td style="padding: 0 10px;">660</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">不</td> <td style="padding: 0 10px;">61</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">3,834</td> </tr> </table>	国	1,908	公	1,205	私	660	不	61	3,834	
国	1,908												
公	1,205												
私	660												
不	61												
3,834													

イ 関連事項

(ア) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表10：普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
沖縄県	国頭郡国頭村内 国有林沖縄森林管理署44林班の一部	912								
	国頭郡国頭村 字安田、字安波、字宜名真、字楚洲、字浜、字比地 及び字辺戸の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>48</td></tr> <tr><td>公</td><td>414</td></tr> <tr><td>私</td><td>389</td></tr> <tr><td>不</td><td>61</td></tr> </table>	国	48	公	414	私	389	不	61
	国	48								
公	414									
私	389									
不	61									
国頭郡大宜味村 字塩屋、字白浜、字大保 ^{たいほ} 、字田港、字津波、字宮城 及び字屋古の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>15</td></tr> <tr><td>公</td><td>10</td></tr> <tr><td>私</td><td>54</td></tr> <tr><td>不</td><td>6</td></tr> </table>	国	15	公	10	私	54	不	6	
国	15									
公	10									
私	54									
不	6									
国頭郡東村 字川田、字慶佐次及び字高江の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>13</td></tr> <tr><td>公</td><td>3</td></tr> <tr><td>私</td><td>17</td></tr> <tr><td>不</td><td>1</td></tr> </table>	国	13	公	3	私	17	不	1	
国	13									
公	3									
私	17									
不	1									
陸域合計		1,031								
		<table border="1"> <tr><td>国</td><td>76</td></tr> <tr><td>公</td><td>427</td></tr> <tr><td>私</td><td>460</td></tr> <tr><td>不</td><td>68</td></tr> </table>	国	76	公	427	私	460	不	68
国	76									
公	427									
私	460									
不	68									
陸域公園区域の地先海面の一部		3,670								
合 計		4,701								

ウ 面積内訳

(表 11：地域地区別土地所有面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域																普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				海域公園 地区	普通地域 (海域)	合計 (海域)							
		特別保護地区				第 1 種				第 2 種				第 3 種																					
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不										
沖縄県	土地所有別面積	2,447	482	71	9	1,215	3,451	279	56	799	2,317	1,258	103	1,908	1,205	660	61	76	427	460	68	6,445	7,882	2,728	297										
	地種区分別面積 (比率)					5,001 (28.8)				4,477 (25.8)				3,834 (22.1)																					
	地域地区別面積 (比率)	3,009 (17.3)																				13,312 (76.7)								0ヶ所					
	地域別面積 (比率)																	16,321 (94.0)				1,031 (6.0)				17,352 (100)				0 (0)		3,670 (100)		3,670 (100)	

(表 12 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : ha)

地域地区		特別地域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)	海域公園 地区※	普通地域 (海域) ※	合計 (海域) ※
市町村名		特保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小計					
沖 縄 県	国頭村	2,327	3,333	3,008	3,699	12,367	912	13,279			
	大宜味村	3	1,376	1,008	121	2,508	85	2,593			
	東村	679	292	461	14	1,446	34	1,480			
合計		3,009	5,001	4,477	3,834	16,321	1,031	17,352	0	3,670	3,670

※海域は国の所有に俗ずる公有水面であり、村別に面積を表示することはできないため、やんばる国立公園全体の数値を示している。

3 施設計画

(1) 保護施設計画

保護施設計画を次のとおりとする。

(表 13：保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針
1	自然再生施設	沖縄県国頭郡国頭村	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を行うとともに、流域の再生を図る。
2	自然再生施設	沖縄県国頭郡大宜味村	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を行うとともに、流域の再生を図る。
3	自然再生施設	沖縄県国頭郡東村	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を行うとともに、流域の再生を図る。

(2) 利用施設計画

ア 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 14：単独施設表)

番号	種類	位 置	整備方針
1	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (辺戸)	東シナ海と太平洋を望みながらザトウクジラの観察ができる沖縄島最北端の岬において、風景や自然探勝のための園地として、岬周辺の景観及び植生保護に留意して駐車場、トイレ、園路等を整備する。
2	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (宇佐浜)	辺戸岬や辺戸岳を展望する視点場として、展望台、園路、駐車場等を整備する。
3	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (宜名真)	古生層石灰岩を基盤にもつカルスト地形の景観を眺望するための園地として、駐車場、トイレ、園路等を整備する。
4	博物展示施設	沖縄県国頭郡国頭村 (宜名真)	熱帯カルスト地形に関連した展示等を行い、当該地域の自然的重要性を学ぶ施設を整備する。
5	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (茅打 ^{かやうち} バンタ)	断崖と海の礁斜面がおりなり風景を眺望するための園地として、駐車場、トイレ、園路等を整備する。
6	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (奥)	やんばる地域の集落景観や猪垣などの暮らしの遺構等を探勝する園地として整備する。
7	宿舍	沖縄県国頭郡国頭村 (辺野喜)	やんばる地域の公園利用者の宿泊施設として、野生動植物の生息・生育に留意して整備する。
8	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (安田)	伊部岳及び安田周辺地域の自然探勝及びヤンバルクイナ生態観察のための園地として整備する。
9	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (幸 ^{ちやうぼる} 地原)	照葉樹林及び海浜の自然探勝のため、及び炭焼き等の文化を体験できる園地を整備する。

10	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (辺土名)	照葉樹林に囲まれ野生動植物を観察することにより、やんばるの森の豊かさを感じられる拠点として園地を整備する。
11	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (安波)	照葉樹林の景観や野生動植物の観察によりやんばるの森の豊かさを感じられる拠点として園地を整備する。
12	宿舎	沖縄県国頭郡国頭村 (安波)	照葉樹林に囲まれ野生動植物に出会うことができ、やんばるの森の豊かさを感じながら過ごす拠点として、公園利用者のための宿泊施設を整備する。
13	野営場	沖縄県国頭郡国頭村 (安波)	照葉樹林に囲まれ野生動植物に出会うことができ、やんばるの森の豊かさを感じながら過ごす拠点として、公園利用者のための野営場を整備する。
14	園地	沖縄県国頭郡国頭村 (比地)	比地川の河川周辺の動植物や野鳥観察などの自然探勝ができる園地として整備する。
15	野営場	沖縄県国頭郡国頭村 (比地)	比地川と周辺の照葉樹林に囲まれて、やんばるの自然を感じながら過ごせる野営場として整備する。
16	園地	沖縄県国頭郡大宜味村 (田嘉里)	田嘉里川の河川周辺の動植物や野鳥観察などの自然探勝ができる園地として整備する。
17	野営場	沖縄県国頭郡大宜味村 (田嘉里)	田嘉里川と周辺の照葉樹林に囲まれて、やんばるの自然を感じながら過ごせる野営場として整備する。
18	園地	沖縄県国頭郡大宜味村 (六田原) <small>むたばる</small>	塩屋湾を眺望するための視点場として、展望台、駐車場等を整備する。
19	園地	沖縄県国頭郡大宜味村 (塩屋湾)	塩屋湾周辺の自然探勝のための園地として整備する。
20	園地	沖縄県国頭郡大宜味村 (津波)	ター滝周辺の自然探勝のための園地として整備する。
21	園地	沖縄県国頭郡東村 (新川)	東海岸の展望利用及び新川周辺地域の自然探勝のための園地として整備する。
22	園地	沖縄県国頭郡東村 (福地) <small>ふくと</small>	散策や周遊船の利用等により、照葉樹林や動植物が観察できる

			自然探勝のための園地として整備する。
23	園地	沖縄県国頭郡東村（慶佐次）	カヌーや木道の利用により、慶佐次のマングローブ林や干潟の生物観察を行うための園地として、園路、トイレ、駐車場、案内所等を整備する。
24	園地	沖縄県国頭郡国頭村（普久川）	フンガー湖及びその周辺の散策や、カヌーの利用により、照葉樹林や動植物が観察できる自然探勝のための園地として整備する。

イ 道路

(ア) 車道

車道を次のとおりとする。

(表 15：道路（車道）表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整 備 方 針
1	奥宜名真線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（奥・国立公園境界） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（宜名真・国立公園境界）	辺戸岬	沖縄島最北端の辺戸岬、辺戸岳周辺を巡りながら東海岸へ結ぶルートとして、沿線の風景維持及び固有又は希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。
2	辺戸岳線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（宜名真園地入り口） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（宜名真園地）	辺戸岳	宜名真園地へ至るルートとして、森林景観及び希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。
3	<small>ひがしかいがん</small> 東海岸線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（奥・国立公園境界） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（楚洲・国立公園境界） 起点－沖縄県国頭郡国頭村（安田・国立公園境界） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（安波北・国立公園境界） 起点－沖縄県国頭郡国頭村（安波西・国立公園境界） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（安波南・国立公園境界）	<small>あかさき</small> 赤崎	自然海岸の多い太平洋側の東海岸を通るルートとして、海岸部の風景維持及び希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。
4	<small>やんばる</small> 山原横断線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（与那・国立公園境界） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（安田・車道合流点）	脊梁山地	脊梁山地を通りながら東西を結ぶルートとして、森林景観及び希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。

(イ) 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 16：道路（歩道）表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針
1	安田伊部岳線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（安田幸地原） 起点－沖縄県国頭郡国頭村（安田漁港） 起点－沖縄県国頭郡国頭村（イシキナ崎） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（伊部岳ウラジロガシ巨木） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（伊部岳）	安田集落 伊部岳	熱帯照葉樹林の自然やオキナワウラジロガシの巨木、生活の遺構を探勝する歩道として、また、ウミガメの産卵する海浜や亜熱帯照葉樹林の自然、ヤンバルクイナを観察する歩道として、森林景観、固有で希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。【探勝歩道】
3	与那覇岳線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（国頭村森林公園） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（与那覇岳）	与那覇岳	与那覇岳登山のための歩道や森林公園周辺の散策路として、森林景観、固有で希少な動植物の生息・生育及び植生の保護などに留意して整備・維持管理を図る。【登山道】
4	安波線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（やんばる学びの森） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（安波集落）	やんばる学 びの森	亜熱帯照葉樹林の自然や溪流周辺の動植物を観察する歩道として、森林景観、固有又は希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。【探勝歩道】
5	比地大滝線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（比地大滝入口） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（比地大滝）	比地大滝	比地川の河川周辺の植物や野鳥などを観察しながら比地大滝へ至る自然探勝歩道として、周囲の森林景観に留意して整備・維持管理を図る。【探勝歩道】
6	ネクマチヂ岳塩屋富士線	起点－沖縄県国頭郡大宜味村（ネクマチヂ岳登山口） 終点－沖縄県国頭郡大宜味村（六田原）	ネクマチヂ 岳、塩屋富士	石灰岩の山地であるネクマチヂ岳・塩屋富士の登山のための歩道として、固有又は希少な動植物の生息・生育及び植生保護等に留意して整備・維持管理を図る。【登山道】
7	<small>たまつじやま</small> 玉辻山線	起点－沖縄県国頭郡東村（福地ダム） 起点－沖縄県国頭郡大宜味村（大国林道） 終点－沖縄県国頭郡東村（イリンマタガー） 終点－沖縄県国頭郡東村（カタナバー） 終点－沖縄県国頭郡東村（ナカンタマチヂ）	玉辻山	玉辻山の登山及び福上湖におけるカヌー利用による周回利用のための歩道として、固有で希少な動植物の生息・生育及び植生保護などに留意して整備・維持管理を図る。【登山道】
8	フンガー湖探勝線	起点－沖縄県国頭郡国頭村（安田西） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（フンガー湖西） 起点－沖縄県国頭郡国頭村（フンガー湖東） 終点－沖縄県国頭郡国頭村（安田東）	フンガー湖	フンガー湖及びその周辺の亜熱帯照葉樹林の自然や昔道を探勝するための歩道として、森林景観、固有で希少な動植物の生息・生育に留意して整備・維持管理を図る。【探勝歩道】

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

平成 28 年 9 月 15 日 やんばる国立公園の区域の指定
(環境省告示第 87 号)

平成 30 年 6 月 29 日 やんばる国立公園の区域の変更
(環境省告示第 48 号)

イ 保護規制計画

平成 28 年 9 月 15 日 特別地域及び特別保護地区の指定
(環境省告示第 89 号及び第 90 号)

平成 30 年 6 月 29 日 特別地域及び特別保護地区の変更
(環境省告示第 50 号及び 51 号)

ウ 利用施設計画

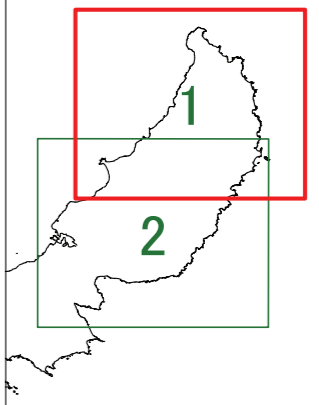
平成 28 年 9 月 15 日 公園計画の決定
(環境省告示第 88 号)

平成 30 年 6 月 29 日 公園計画の変更
(環境省告示第 49 号)

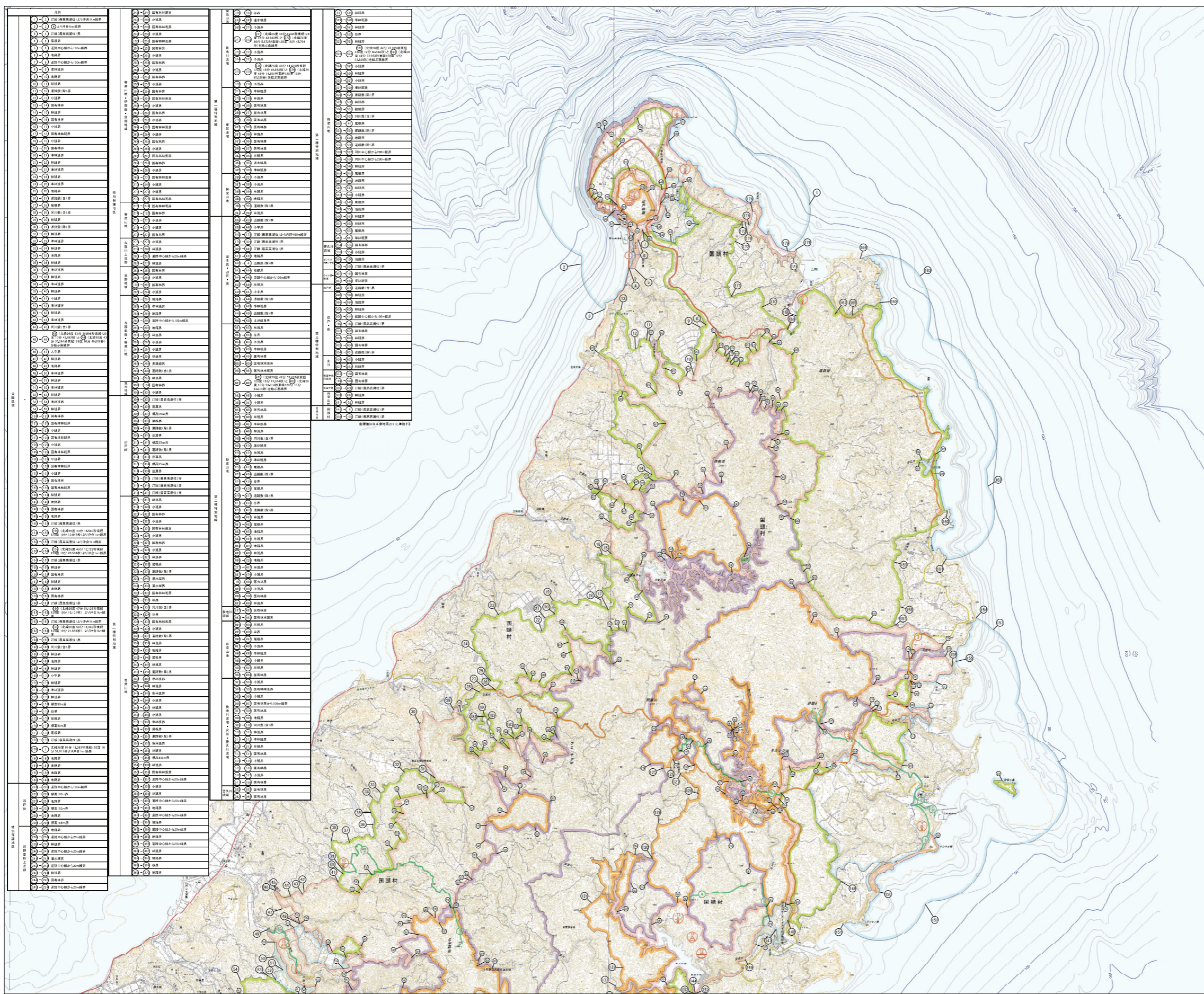
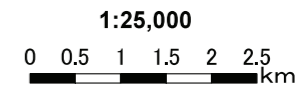
やんばる国立公園 区域及び公園計画図1



位置図



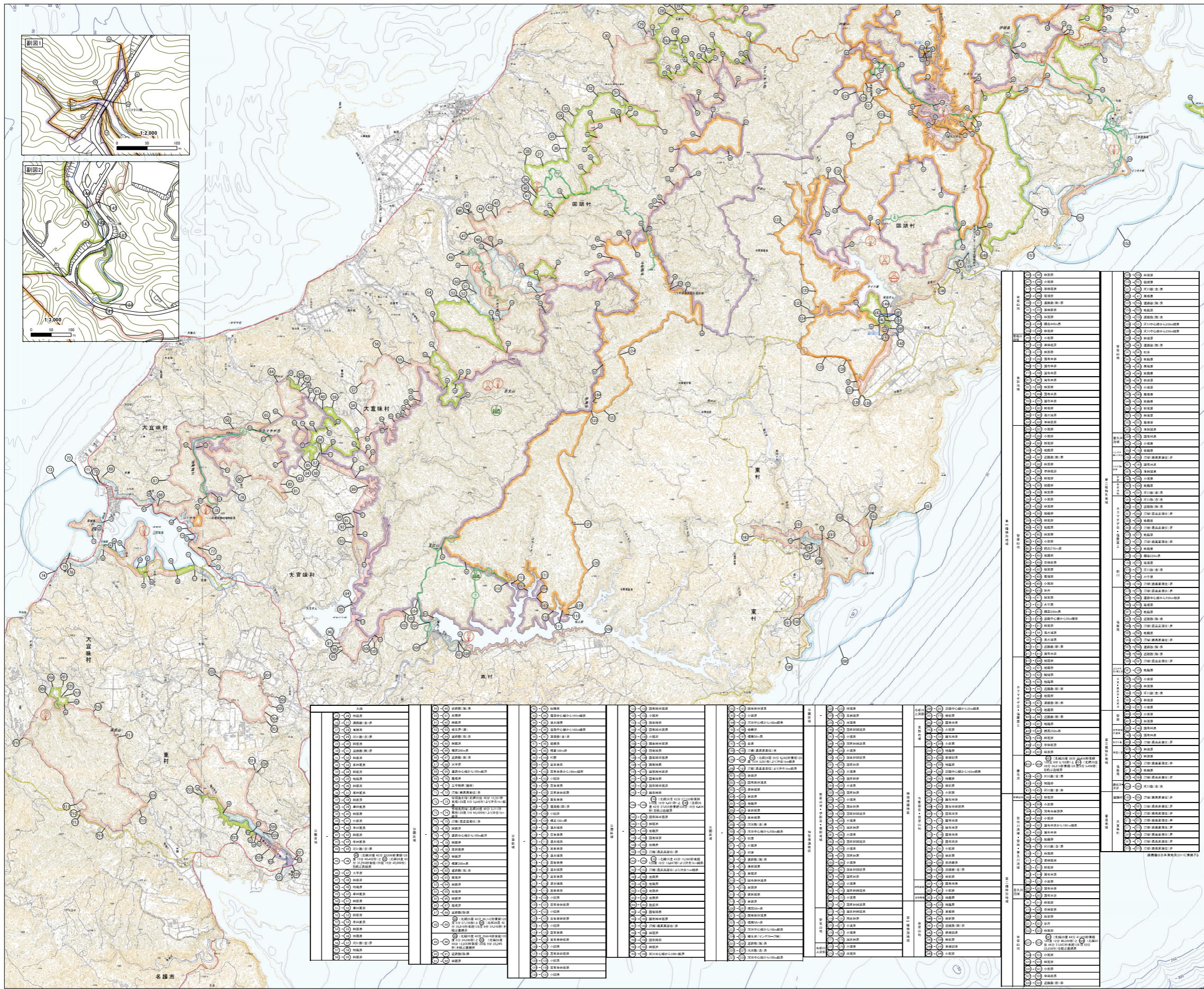
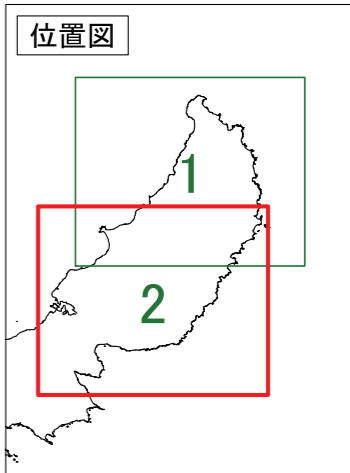
凡 例	
保護規制計画	
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域
保護施設計画	
	自然再生施設
利用施設計画	
単 独 施 設	
	園 地
	野 営 場
	宿 舎
	博物展示施設
道 路	
	歩 道
	車 道



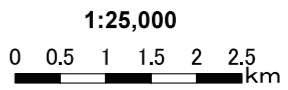
<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別保護地区 ○ 第1種特別地域 ○ 第2種特別地域 ○ 第3種特別地域 ○ 普通地域 ○ 自然再生施設 ○ 園地 ○ 野営場 ○ 宿舎 ○ 博物展示施設 ○ 歩道 ○ 車道 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別保護地区 ○ 第1種特別地域 ○ 第2種特別地域 ○ 第3種特別地域 ○ 普通地域 ○ 自然再生施設 ○ 園地 ○ 野営場 ○ 宿舎 ○ 博物展示施設 ○ 歩道 ○ 車道 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別保護地区 ○ 第1種特別地域 ○ 第2種特別地域 ○ 第3種特別地域 ○ 普通地域 ○ 自然再生施設 ○ 園地 ○ 野営場 ○ 宿舎 ○ 博物展示施設 ○ 歩道 ○ 車道 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別保護地区 ○ 第1種特別地域 ○ 第2種特別地域 ○ 第3種特別地域 ○ 普通地域 ○ 自然再生施設 ○ 園地 ○ 野営場 ○ 宿舎 ○ 博物展示施設 ○ 歩道 ○ 車道
--	--	--	--

©地図は、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の20万1:1地形図、5万1:1地形図、2万5千1:1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 令和情報、第261号)

やんばる国立公園
区域及び公園計画図2



凡 例	
保護規制計画	
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	普通地域
保護施設計画	
	自然再生施設
利用施設計画	
単 独 施 設	
	園 地
	野 営 場
	宿 舎
	博物館展示施設
道 路	
	歩 道
	車 道



この地図は、国土情報院長の承認を経て、同院発行の20万1:1地形図、3万1:1地形図、2万5千1:1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 希光特第 第211号)